

「消防学校ニュース」

平成 29 年 4 月 28 日発行



■初任教育（初任科第 87 期）の訓練が本格的にスタート！

初任科第 87 期 109 名は入校して 3 週間が経ちました。学校内の寮で集団生活を学びながら、本格的な訓練が始まっています。

座学では、「倫理」「消防法」「安全管理」「消防組織制度」など基礎科目を学び、実科訓練では、準備・心構えから始まり、「訓練礼式」「機器取扱訓練」「消防活動訓練」などで鍛え上げられます。



★いついかなるときもメモ！

ポンプ車の乗車下車、積載資機材、車両誘導 …

教官の説明は聞き逃さない

★教官の指示にしたがって行進！

速足、かけ足、足の踏み変え、右向け発進、行進中の斜行進 …

(新幹線からも見られているぞ)

■ ある日の午後の訓練風景（4月18日）



★ホースは消防士の命！

ホースの取扱いで 30 分 その後は学校の外周およそ 1 km をホースを担いで走る！
走る！ 走れ！



★ロープの基本結索に挑戦！

ひと結び とめ結び 8 の字結び
もやい結び 巻き結び ひばり結び
???????

■テレビ静岡が取材・放送



この日は、テレビ静岡が取材に訪れ、消防学校に入校したばかりの初任科学生
の教育訓練の様子を終日カメラに収めて
いきました。

その内容は4月20日（木）放送の
「てっぺん静岡」（15:50～）の番組中、
「静岡フレッシューズ」のコーナーで、
“春の新入社員／消防士の卵に密着！
リタイヤ続出！新人消防士の訓練”として
紹介されました。

★ 放送された内容をほんの少し御案内

礼儀・規律を守りながらの食堂での食事の様子や厳しい消防活動訓練等の様子が映像とナレーション
で伝えられました。教官、学生のインタビューも盛り込まれました。

※ナレーション「厳しい訓練の中には新人達の将来を思う先輩の愛情が込められている」

酒井良憲（消防学校教官）

「基本は体で覚えてもらいたい。理屈ではない。体で覚えれば、それが一生役立つ。現場を体験して
そう思う。」

訓練後の学生インタビューでは…

松下祐輔（静岡市消防局）

「訓練は厳しかったけれど、気合で乗り切りました。地域の人たちに挨拶をしながら、地域密着の消
防士を目指してがんばりたいと思います。」

中澤夢子（浜松市消防局）

「初めての消防活動訓練だったので大変でした。夢のまた夢になってしまうかもしれませんが、浜松
で初めての女性救助隊員になりたいと思っています。」

「半年間の厳しい訓練の後、一人前の消防士として、ここを巣立っていきます。地域の安全と安心を思
う彼らの背中が少しか頼もしく見えました…」とナレーションは締めました。

番組MCは

「火を消す職業ですが、心の火は絶やさず、活動してほしい。」とこのコーナーを締め括りました。

■消防長による学生激励

18日は静岡市消防局の青山雅行消防
局長が「倫理」の講義のため来校され、
講義終了後、所属の学生達と昼食を共
にしました。

青山局長は、食事をしながら、各学
生の話に耳を傾け、激励の言葉を送り
ました。

学生は、所属の消防局長の熱い後押
しを受け、気合を入れ直して午後の厳
しい訓練に向かいました。

